平成27年度施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4211	施策名	離島で安心して暮らせるまち	主担当課	企画政策課
大項目	活気あるまちづくり				
基本方針	生活するために必要な公共サービスの提供，道路や港などの整備，島民・民間団体・行政が協働し，地域コミュニティの活性化に取り組むことにより，いつまでも安心して離島で住み続けることができるまちを目指します。			関係課	協働のまちづくり課

＜2.施策を構成する事務事業の概要＞

1 離島振興事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
島で暮らす人 島で暮らしたい人	永続的に島で暮らせるようにする。	・笠岡諸島振興計画の策定及び進行管理 ・離島振興を目的に組織された団体（全国離島振興協議会，岡山県離島振興協議会，財団法人日本離島センター）との連携 ・辺地総合計画の策定及び進行管理 ・離島振興に関する庁内調整

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取組内容	●全国離島振興協議会（全離島） 情報収集及び，国への要望活動 ●岡山県離島振興協議会 県内離島の状況把握や要望活動 ●笠岡諸島振興計画 施策実施の庁内調整 ●辺地総合計画の活用	⇒ ●笠岡諸島振興計画（第2次）策定	⇒ ○離島高校生修学支援事業の実施に向けて，国及び県と調整	⇒ ○離島高校生修学支援補助金の創設

		平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
直接事業費	決算額	323	千円	決算額	405	千円	決算額	533	千円	決算額	1,512	千円
	うち一般財源	323	千円	うち一般財源	405	千円	うち一般財源	533	千円	うち一般財源	1,023	千円

2 海援隊事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
島しょ部住民	島しょ部に不足する公共的サービスの提供などの取組みを市民・民間団体と協働で行うことで，地域コミュニティの維持及び活性化を図る。	協働による公益的事業の企画及び運営，行政課題の広聴及び解決のための支援，地域の再生に寄与する取り組み。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取組内容	●民間団体との協働 ●過疎地有償運送 ●通所介護事業所	⇒	●まちづくり協議会の機能活用 ●かさおか島づくり海社の側面及び後方支援 ●各島の地域担当職員と連携した事業推進	●まちづくり協議会の機能活用 ●かさおか島づくり海社の側面及び後方支援 ●各島の地域担当職員と連携した事業推進

		平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
直接事業費	決算額	14,550	千円	決算額	11,049	千円	決算額	14,910	千円	決算額	9,800	千円
	うち一般財源	4,018	千円	うち一般財源	8,307	千円	うち一般財源	7,710	千円	うち一般財源	8,800	千円

3	離島航路事業（再掲）

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
・旅客船を利用する人 ・旅客船で運搬される生活必需品	島しょ部と本土を結ぶ唯一の生活航路を維持し，島民の生活の安定と利用者の利便を確保する。	・国庫補助対象航路へ補助金を支出する。 ・運行事業者と連携して利用促進を図るとともに，必要に応じて運行ルート・ダイヤの見直しを行う。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取組内容	●補助金交付 ●統合後の新航路で運航 ●運行ルート，ダイヤの見直し	●補助金交付 ○航路関連施設の整備	●補助金交付	●補助金交付 ●ダイヤの見直し ●港の乗り場環境改善

		平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
直接事業費	決算額	8,440	千円	決算額	31,015	千円	決算額	10,177	千円	決算額	12,495	千円
	うち一般財源	8,440	千円	うち一般財源	21,015	千円	うち一般財源	10,177	千円	うち一般財源	10,095	千円

4	陸上交通事業（再掲）

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
マイカーなどによる移動手段を持たない人	バスや鉄道などの公共交通を必要としている人の移動手段を確保する。	・過疎地有償運送の運行に要する経費への補助金を支出する。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取組内容	●過疎地有償運送の維持	⇒	⇒	●過疎地有償運送の維持

		平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
直接事業費	決算額	1,095	千円	決算額	918	千円	決算額	1,151	千円	決算額	1,122	千円
	うち一般財源	595	千円	うち一般財源	418	千円	うち一般財源	251	千円	うち一般財源	422	千円

＜3.施策の直接事業費（2の合計）＞

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
直接事業費	24,408	千円	43,387	千円	26,771	千円	24,929	千円
うち一般財源	13,376	千円	30,145	千円	18,671	千円	20,340	千円

＜4.指標＞

	指標名			目標・実績の推移 H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H29目標
1	離島の人口減少の割合（対前年比）	単位	目標				△ 3.5	△ 3.4	△ 3.0
		%	実績	△ 4.6	△ 3.5	△ 3.5	△ 3.9	△ 4.0	
			達成率				111.4%	85.0%	
2	離島振興に対する満足度（市民意識調査）	単位	目標				—	△ 2.2	△ 1.9
		%	実績	△ 4.0	—	△ 11.3	—	△ 9.6	
			達成率					22.9%	
2	1年間に離島に移住した人数	単位	目標				6	6	8
		人	実績	2	8	1	3	3	
			達成率				50.0%	50.0%	
3	1年間に離島で起業した数	単位	目標				1	1	1
		件	実績	1	1	2	0	0	
			達成率				0.0%	0.0%	

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
・空き町屋とネット環境を利用した企業誘致などによる人口増加に基づいて町おこしを行うことも考えられます。	→	島しょ部では，若者を島へ呼びこみ，交流人口を増やすため，まちづくり協議会が主体となって大学生のインターンシップを継続活用しているところです。また，併せて岡山県立大学，興譲館高等学校等が島しょ部で各種実習やスクーリング活動を行うこともあるため，協力して島の活性化に努めてまいります。
・島しょ部と本土を結ぶ定期航路の安定運航に努めていただきたい。	→	今後も航路の維持確保による安定運航に努めてまいります。
・陸地部との感覚的な距離が遠すぎると感じています。市民に対する笠岡諸島の関連付けが無さすぎると思います。	→	北木島宿泊研修施設の完成に伴い，市内の小学生も島しょ部へ行く機会が増えてきています。この流れを引き続き維持し，様々な世代が島しょ部を訪れる仕組みづくりを行ってまいります。

＜6.平成26年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A：施策を構成する事業が順調に進行している。 B：施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C：施策を構成する事業が一部遅れている。 D：施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.施策の課題と改善案＞

課題と改善案	（施策の課題） ・笠岡諸島振興計画に基づき，効果的な振興施策の実施について検討する。 ・地域活性化に寄与する住民の世代交代が進まないまま過疎化・少子高齢化を迎えており，地域活動を担う人材の不足が深刻化している。 （改善案） ・笠岡諸島振興計画に基づき，庁内はもとより関係団体等との緊密な連携を図ることによって，一体的な振興を図る。 ・まちづくり協議会との協働により各島の，NPO法人との協働により笠岡諸島全体の課題の把握や解決，魅力ある地域づくりを推進するとともに，地域活動を担う人材の育成を図る。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果 （前期4年間の総合評価）	B
コメント				